

編集後記

肝細胞胆道系 MRI 造影剤(以下, EOB)の登場は, 超音波造影剤に続く肝画像診断への大きなインパクトである。細胞外液に分布した後, 肝細胞に取り込まれ胆汁中に排泄される特徴があり, 肝腫瘍性病変の検出や鑑別の向上に大きな期待が寄せられている。各施設で臨床経験が蓄積されつつある現時点で, その臨床的有用性を整理しつつ今後を展望することを目的に企画した。

「肝細胞胆道系 MRI 造影剤は肝画像診断体系を変えるか?」と題した工藤正俊先生の序に, EOB への期待が集約されている。EOB の造影剤として特徴を知るには, 上野彰久先生(慶應大)の解説が最適である。発売以来, 様々な病態で EOB の臨床応用が試みられている。転移性癌については内田政史先生(久留米大), 肝細胞癌については斎藤 聡先生(虎ノ門), 肝細胞癌と境界病変との鑑別については佐野勝廣先生(山梨大), そして肝細胞性良性病変については小坂一斗先生(金沢大)に, 各施設の経験を踏まえて解説いただいた。

磁場強度が高くなると画質の向上が期待されるが, 新たな諸問題も発生する。1.5 T 装置との比較をもとに, 3.0 T 装置での EOB の臨床経験を金 東石先生(大阪大)に解説いただいた。肝細胞実質相は EOB 静注 20 分後に撮像することが推奨されたが, その前倒しは可能であるのか, また, T2 強調像や拡散強調像を造影後に撮像することの是非など, 撮像時間の短縮を考慮した EOB を用いた際の撮像法について中村信一先生(熊本大)に解説いただいた。EOB は胆道内へ排泄されるため胆道病変の診断への期待もある。その可能性については山田 哲先生(信州大)が論じている。そして, 「EOB で肝画像診断の One stop shopping は可能か?」と題して, 村上卓道先生(近畿大)に EOB の臨床応用の現状をまとめていただいた。

臨床例の蓄積とともに, EOB の有用性が現在進行形で次々と検証されている。そうした中で, 当初の予想とは異なる EOB の側面も明らかになりつつある。EOB は, 一筋縄ではいかない造影剤である。1 例 1 例の所見が物語る事象を正確に捉え, 整合性を取りながら EOB の体内動態を解明していく心構えが大切だ。

昨日, 信州にも梅雨明けが宣言された。いよいよ真夏の到来である。しかし, この特集号が発刊されるのは, 安曇野に秋の気配が漂う頃であろうか。季節の移り変わりに想いを巡らす, 心のゆとりも大切にしたい。

(角谷眞澄)

編集顧問

有山 襄 竹原 靖明 望月 福治

編集幹事

二村 雄次 角谷 眞澄 神澤 輝実 工藤 正俊
国土 典宏 椰野 正人 真口 宏介

編集委員

山雄 健次 朝倉 徹 跡見 裕 猪狩 功遺
石川 洋子 市川 智章 伊東 克能
乾 和郎 今井 裕 植木 敏晴
太田 哲生 岡崎 和一 梶原 建熙
兼松 雅之 川崎 誠治 蒲田 敏文
鬼島 宏 木下 壽文 木村 理
熊田 卓 小井戸一光 近藤 哲
坂元 亨宇 佐々木 洋 下瀬川 徹
須山 正文 高安 賢一 高山 忠利
竹内 和男 武田 和憲 田中 雅夫
土井隆一郎 長川 達哉 信川 文誠
長谷部 修 廣橋 伸治 本田 浩
眞栄城兼清 前谷 容 松井 修
村上 卓道 森 宣 森安 史典
柳澤 昭夫 山下 康行 山野 三紀
竜 崇正 渡辺 五朗 (五十音順)

掲載広告索引

(五十音順)

アステラス製薬(株)	471 頁
エーザイ(株)	表 2
オリンパスメディカルシステムズ(株)	476 頁
第一三共(株)	472 頁
東芝メディカルシステムズ(株)	表 3
バイエル薬品(株)	表 4
ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	484 頁

肝胆膵画像(第 11 巻第 5 号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714 (担当)藤田・能藤

FAX (03)3815-7802・3815-7982

E-mail: gazo@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kantansui/

2009 年 9 月 15 日発行(隔月 15 日発行)

定価 3,675 円(本体 3,500 円+税 5%)

2009 年 年々ぎめ予約購読料 21,930 円(年間 6 冊)(送料弊社負担)

電子ジャーナル閲覧オプション付 28,500 円

(税込定価・送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 (株)アイワード ☎(011)241-9341(代)

広告取扱 (株)文京メディカル ☎(03)3817-8036(代)

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. ©2009, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有いたします。
- JCOPY <(株)出版者著作権管理機構 委託出版物>
- 本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。